

Tokushima International Network for a Sustainable Society

# TIS

ネットワーク通信

09

vol.06

2020 September





# CONTENTS

PAGE

**02** CONTENTS

**03** COLUMN “リソースの有限性、求められる行動変容”  
鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授 坂本有芳

**05** NEW とくしま国際消費者フォーラム2020オンデマンド  
配信決定！

**06** REPORT “アフリカ雑貨を通して、世界の平和に貢献！”  
独立行政法人国際協力機構四国 徳島デスク 長田有加里

**07** 10月は食品ロス削減月間！  
「ゼロハンガーチャレンジ」「食品ロス削減推進大賞」

**09** 豆知識コーナー「知っとうで？」  
編集後記：ちょっと一言

**10** ～TIS通信とは～  
消費者庁新未来創造戦略本部Started from July 2020!



今月の表紙写真

徳島市 彼岸花



## リソースの有限性、求められる行動変容

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授

消費者庁新未来創造戦略本部 客員主任研究官

坂本 有芳

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により発出された非常事態宣言下で、私たちは制約の大きな生活を送りました。認識させられたのは、私たちの日常生活を支える様々なリソース、食料品や日用品、医療物資の有限性や、使い捨て消費の危うさです。三〜四月にはマスク、アルコール消毒液など除菌用品が全国の店頭から消えました。トイレットペーパーなど使い捨ての紙類、パスタ、小麦粉など日持ちする食料も品薄になりました。

実は、同じことはこれまでも起こっていたのです。二〇〇九年の新型インフルエンザ襲来時は、マスク、消毒液、インスタント食品、トイレットペーパーが一瞬で消え去り、二〇一一年東日本大震災では、パン、インスタント食品、缶詰、飲料水、ガソリン、乾電池、トイレットペーパーが無くなったと報告されています。非常事態が起こると、同じようなものを買う物が殺到するのですね。



近年、自然災害は頻度が増し、感染症は瞬く間にグローバルで拡大します。非常事態が「万が一」ではなくなったのです。こんな時代に生きる私たちには、何が求められているのでしょうか。

一つは、必需品をストックすることです。トイレトペーパー、マスクは余分に置いておく。わが家に欠かせない食品を多めに買い置く。「これだけは」を見極め、平時からの備えを充実させれば、買い占め騒ぎに動じることもないでしょう。

いま一つは、消耗品に頼らない知恵やスキルを蓄えることです。今回、使い捨てマスクの世界的争奪戦では劣勢だった日本ですが、手縫いマスクの広まりには賞賛を受けました。物は有限でも、知恵とスキルで生み出せるものがあります。

非常時には、物を奪い合うのではなく、知恵を分けあいたいものです。そして、使い捨て消費への依存を減らすスキルは、地球のサステイナビリティにも貢献します。リソースの有限性を突き付けられた今、持続可能な行動への変容が求められます。



# とくしま国際消費者 フォーラム2020

## 11/4から

## オンデマンド配信決定!

令和元年9月、日本初開催の「G20消費者政策国際会合」の議論を踏まえるとともに、「消費者庁 新未来創造戦略本部」のカウンターパートとして、「新たな消費者問題の対処」や「SDGs（持続可能な開発目標）の推進」等について、国内外の有識者による、世界の先駆的な取組や消費者行政・消費者教育の取組実践等を広く国内外に発信するとともに、県民の機運醸成と意識向上を図ることを目指し、「とくしま国際消費者フォーラム2020」を11月4日から「オンデマンド配信」します。

また、消費者志向経営やエシカル消費に取り組む事業者・団体や自治体の先駆的な事例を映像にし、情報発信することにより、SDGsを見据えた消費者志向経営やエシカル消費への理解を深め、「とくしま発SDGsアクションプログラム2020」もあわせて配信します。

## 概要

1 内 容 とくしま国際消費者フォーラム2020

2 主 催 等 主催：徳島県  
後援：消費者庁(予定)・(一社)日本エシカル推進協議会(予定)

3 概 要 (1) とくしま国際消費者フォーラム2020  
新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を契機とした、消費者を取り巻く国際情勢の変化等を踏まえた持続可能な社会の実現  
(2) とくしま発SDGsアクションプログラム2020  
「持続可能な消費と生産」の視点から考えるSDGsの実践

4 配信方法 映像は徳島県が制作するホームページやYouTube、徳島県内のCATV等で、配信予定

## アフリカ雑貨を通して、世界の平和に貢献！

独立行政法人 国際協力機構（ジャイカ）四国センター

JICA徳島デスク 長田有加里



（上）主に出身地の岡山県で、販売会やイベントの開催、ハギレを使ったワークショップでアフリカをより身近に感じられる取り組みもしています。（田賀さんは写真左から2番目）

（JICA提供）

そこでの活動から、現地の雇用を増やしたい、平和で笑顔溢れるアフリカの魅力を伝えたいと思ひ、帰国後に「jam tun」を立ち上げました。

「ジャムタン」とは、現地語（プラール）で‘平和だけさ’という意味。商品の選択を通じて、世界の平和を広げていきませんか？

色とりどりのアフリカ布で作られた洋服や雑貨を販売するブランド「jam tun(ジャムタン)」。この商品は、アフリカのセネガル共和国東部、シンチューマレム村で作られています。商品の中には、ゴミとして捨てられてしまうようなハギレからできたものもあります。

田賀朋子さんは、大学院で貧困問題について学んだ後、その知識を生かすべくJICA青年海外協力隊に参加。2014年から2年間、セネガルで現地住民の生活改善に取り組みました。



シンチューマレム村のミシン工房の様子。洋服や雑貨、マスクを制作。元々、砂埃避けに提案したマスクは、今ではコロナ対策にも役立っている。

（JICA提供）

10月は食品ロス削減月間、10月16日は世界食料デー！

9/1～10/31



## ゼロハンガーチャレンジ食品ロス飢餓ゼロ

本来、地球上には世界の人口77億人分を、賄うだけの食料があります。しかし、世界では6億9千万人が飢えに苦しんでいます。一方、世界では生産された食べ物の3分の1が廃棄されています。

日本も「食品ロス」大国の1つです。

あなたの食品ロス削減の取り組みを途上国の食料支援につなげませんか？！



### ◆参加方法

- ・投稿期間：令和2年9月1日～10月31日
- ・対象SNS：Instagram, Twitter, Facebook, Youtube
- ・投稿方法：3つのハッシュタグをつけて投稿

#食品ロスゼロアクション

#ゼロハンガー2020

#国連WFP



食品ロスにつながるアクションをしてSNSに投稿！

1投稿につき120円（約4人分）が学校給食支援に寄付！

<https://www.jawfp.org/worldfoodday2020/>

ゼロハンガーチャレンジ 食品ロス

検索



## 食品ロス削減推進大賞 募集中！

暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんですか？

皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、そんな「食品ロス削減」の活動を、消費者庁が募集しています！

地方公共団体、企業、団体、学生など、様々な方が応募できますので、ぜひ、ご参加ください！

### ◆食品ロス削減推進対象について

- ・主催：消費者庁
- ・後援：農林水産省・環境省・文部科学省  
厚生労働省・経済産業省
- ・表彰：内閣府特命担当大臣が行う表彰 5点以内  
消費者庁長官が行う表彰 5点以内

### ◆応募方法

- ・専用の推薦調書様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、消費者庁特設サイト「めざせ！食品ロスゼロ」内の食品ロス削減推進対象応募フォームから申してください。

[https://www.no-foodloss.caa.go.jp/promotion\\_award.html](https://www.no-foodloss.caa.go.jp/promotion_award.html)

消費者庁 食品ロス削減推進大賞

検索

消費者庁  
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

令和2年  
10月30日(金)  
締切

## 食品ロス削減推進大賞 募集中

暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんでしたか？  
皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。**食品ロス削減の日**である令和2年**10月30日(金)**が締切日です。  
地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。

めざせ！  
食品ロス  
ゼロ

主催 消費者庁  
後援 農林水産省・環境省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省

上記は活動のイメージです。(出典：消費者庁ウェブサイト)

応募の詳細は裏面をご覧ください⇒

## 今更聞けない！SDGs ~17のゴールを解説します~

### ●ゴール7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

日本はエネルギー自給率が諸外国に比べ低く、石油・石炭等の化石燃料への依存度は8割強とされています。

化石燃料から排出される温室効果ガスについて、最近、日本の排出量は減少していますが、今後も削減に向けた努力が必要です。

#### ⇒私達・消費者にできること

節電や省エネを心がける。再生可能エネルギーを中心に発電する企業から電気を購入する。



### ●ゴール8 働きがいも、経済成長も

持続的な経済成長と、働きがいのある生産的な仕事ができる社会の実現を目指しています。児童労働、強制労働の撲滅だけでなく、過労死等をなくし、誰もが人間らしく働ける社会にするための取組が必要とされています。

#### ⇒私達・消費者にできること

従業員の労働環境に配慮した事業者の製品を購入する。



## Sustainable Development Report 2020(持続可能な開発レポート2020)

「2030年までに達成すべき17の目標」として、2015年9月に採択された「SDGs」。日本でも、今年の7月1日からレジ袋の有料化が始まったことをきっかけに、エコバッグを持ち歩くなど、環境への配慮を日常に取り込んだ方もいらっしゃると思います。

ところで、こういった私たちの日頃の行動がSDGsが掲げる目標の達成にどれだけ結びついているのか、世界的に見て、日本のSDGsに対する取組はどのレベルにあるのかを考えたことはあるでしょうか？

そんな疑問に答えてくれるのが、今回御紹介する「Sustainable Development Report 2020(持続可能な開発レポート2020)」です。

「Sustainable Development Report(持続可能な開発レポート)」は、ドイツのベルテルスマン財団と、持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)が2016年から作成しており、国連に加盟する193か国を対象にSDGsの達成に向けた各国の現状を分析することで、それぞれの国における改善が必要な分野が一目でわかるようにまとめられています。

各国のSDGs達成状況は100点満点でランク付けされており、今年6月30日に発行された2020年度版によると、日本の点数は79.2点でランク付け可能な166か国中17位となりました。昨年と比較すると、点数は78.9点から0.3ポイント伸びたものの、順位は15位から17位に下がった、という結果です。今回、日本はSDGs4,9,16の3つの目標が達成されたと評価された一方で、SDGs5,13,14,15,17の目標については、まだまだ主要な課題が残っているとされました。

また、今回のレポートでは、新型コロナウイルス(Covid-19)とSDGsの関係性についても触れられています。全文英語で作成されていますが、SDGsに関する世界の動向がつかめる内容になっています。興味のある方はぜひチャレンジしてみてくださいいかがでしょうか？

### ◆SDG Global rank(達成状況ランキング)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1位：スウェーデン | 7位：オーストリア |
| 2位：デンマーク  | 8位：チェコ共和国 |
| 3位：フィンランド | 9位：オランダ   |
| 4位：フランス   | 10位：エストニア |
| 5位：ドイツ    | ：         |
| 6位：ノルウェー  | 17位：日本    |

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発レポート2020

検索

### 編集後記：ちょっと一言

先日、フェアトレードチョコをもらって食べる機会があったのですが、絶妙な甘さに驚き、「これ何て名前のチョコですか」と即座に聞き返すほどのおいしさでした。後で調べてみると、市販のチョコの2倍以上はするお値段でしたが、それだけ価値のある商品だよなあ、としみじみと感じました。今度は自分で購入して、心ゆくまで味わいたいと思います。



※写真はイメージです。

# なんで徳島県が国際なん？ ～TIS通信とは～

令和2年7月30日、徳島県に消費者行政・消費者教育の発展・創造の拠点となる「消費者庁新未来創造戦略本部」（以下、「戦略本部」という。）が開設されました。

戦略本部では、全国展開を見据えたモデルプロジェクトの推進に加え、新たな消費者政策や国際共同研究の推進を行う「国際消費者政策研究センター」が設置されました。

そこで、本県では、「G20消費者政策国際会合」のレガシーの創出と戦略本部を支援するため、国際会合の参加者や学識経験者、消費者団体等で構成される「徳島県持続可能な社会を目指した国際連携ネットワーク」（以下、「TIS」という。）を令和2年2月に設立しました。

今後、TISと連携し、新たな未来に向けた消費者行政・消費者教育を推進し、その取組を国内外に発信してまいります。

この広報誌「TIS通信」は、TIS委員や協力機関等による情報発信の場として、毎月発行しています。国際的かつ最前線の情報に触れてみてください。

## 消費者庁新未来創造戦略本部 Started from July 2020!

徳島県は、「消費者庁新未来創造戦略本部」のカウンターパートとして、全国展開を見据えたモデルプロジェクトや新たな政策研究、国際業務に協力し、国際的な視点で持続可能な消費者行政・消費者教育を推進し、全国、そして、世界への展開を目指します！



G20消費者政策国際会合の参加者や学識経験者、消費者団体等の専門家からなる徳島県持続可能な社会を目指した国際連携ネットワーク「TIS」を令和2年2月に設置



徳島県持続可能な社会を目指した  
「国際連携ネットワーク設立及び第1回会合」

- ・日時：令和2年2月21日(金)午後1時30分から午後3時30分まで
- ・場所：徳島グランヴィリオホテル

令和2年度に本県に設置される「消費者庁新未来創造戦略本部」で行われる全国モデルとなるプロジェクトの取組や国際業務等の活動を支援するとともに、「G20消費者政策国際会合」の開催で培った協力関係を継承し、本県の消費者行政・消費者教育をさらに発展・創造させることを目的として、消費者政策国際会合の参加者や学識経験者、消費者団体等の専門家からなる徳島ならではの「国際連携ネットワーク」を設立し、第1回会合を開催しました。

## 「とくしまプロジェクト」発行！ (旧：「プロジェクト通信」)

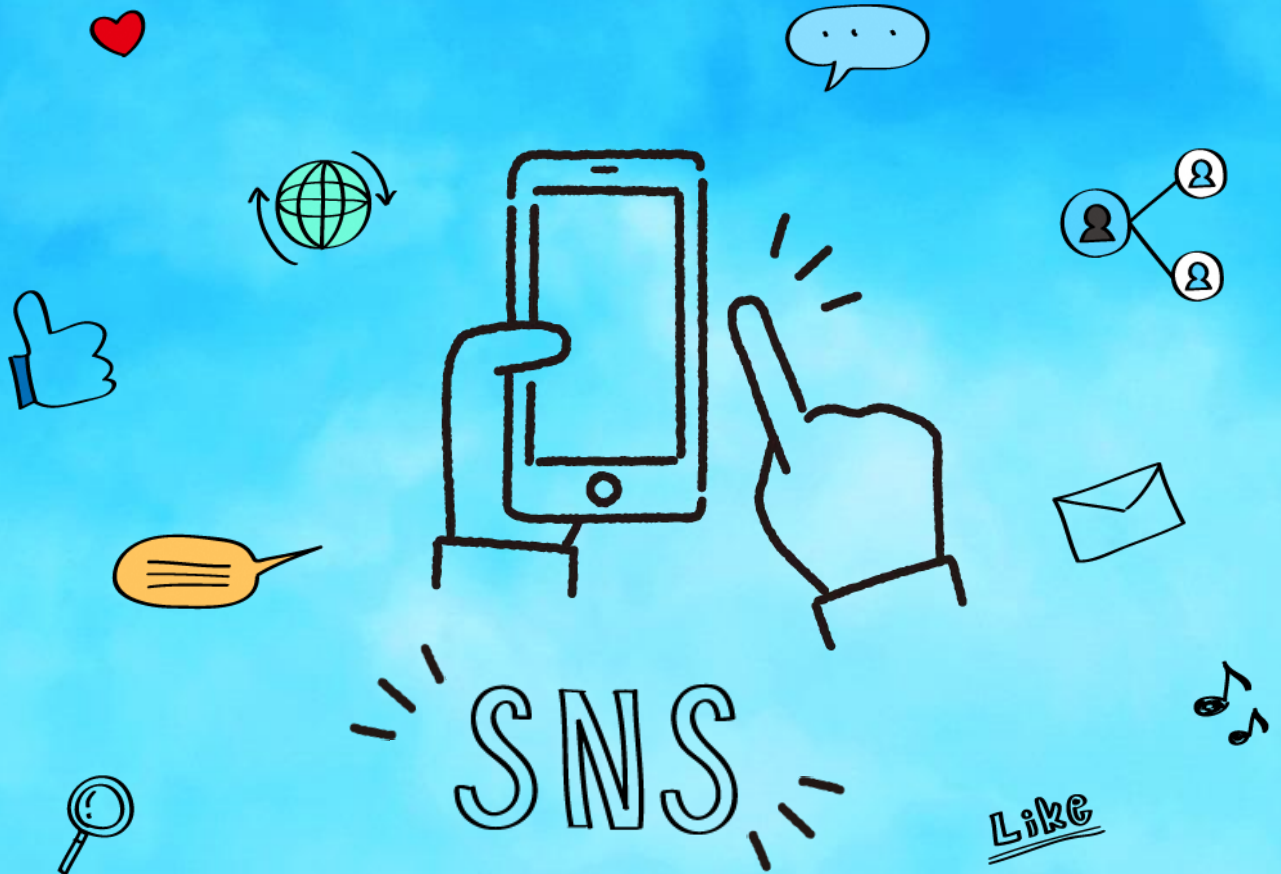
これまで、消費者庁等と連携したモデルプロジェクトの最新情報を掲載してきた「プロジェクト通信」は、令和2年度から「とくしまプロジェクト」に名称を変更しました！5月から、毎月発行しています。是非、こちらもご覧ください。



毎月情報発信中！  
〈とくしまプロジェクト〉

とくしまプロジェクト  
を見るにはコチラ





いますぐフォロー！  
しませんか？

〇〇  
CHECK!

徳島県のSNSアカウントで最新情報を発信中！  
Twitter or Facebookページをフォローして一緒に盛り上げませんか？

徳島県のHPのサブサイト「とくしま消費者行政プラットフォーム」  
及び「新型コロナウイルスに関する消費者向け情報」サイトもご覧ください！



@awaethical

とくしまエシカル消費普及推進プロジェクト



@TokushimaPF

とくしま消費者  
行政プラットフォーム



徳島県消費者  
行政最新情報

新型コロナ  
ウイルスに関する  
消費者向け情報



作成 徳島県危機管理環境部 消費者くらし安全局 消費者政策課  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
電話：088-621-2499 FAX：088-621-2979  
e-mail：shohishaseisakuka@pref.tokushima.jp

## PROJECT

### 子どもの事故防止

日本では、窒息や溺水などの不慮の事故によって、14歳以下の子どもが毎年200人ほど亡くなっている。こうした事故を可能な限り防止するために、消費者庁は関係府省庁と連携し「子どもを事故から守る！プロジェクト」を推進。子どもの事故防止に関する注意ポイントなど様々な情報をホームページやSNSなどで発信。

- ▼第1回子どもの事故防止プロジェクト関係者ネットワーク会議[紙面開催] (R2.6.1)
- ▼子どもの事故防止週間での啓発パネル展 (R2.7.20~7.31)
- ▼H30~関西広域連合主催合同研修会開催

先駆的に推進

### モデルプロジェクトの全国展開

◆徳島県で構築している大学、医師会、看護協会、助産師会、保育所、幼稚園、子育て支援団体等の関係機関のネットワークと連携し、啓発活動を推進。

## PROJECT

### 公益通報窓口及び内部制度の整備促進

労働者が公益のために行った通報に対応する内部通報制度の実効性を向上し、消費者の安全安心を守り、社会経済全体の利益を守るため、県内に通報窓口を整備してきた。全市町村に設置した通報窓口の整備効果と中小企業における内部通報制度の導入及び円滑な運用の推進。

- ▼コンプライアンス経営強化推進事業
- ▼県職員を対象とした公益通報者保護制度eラーニングを実施

先駆的に推進

### モデルプロジェクトの全国展開

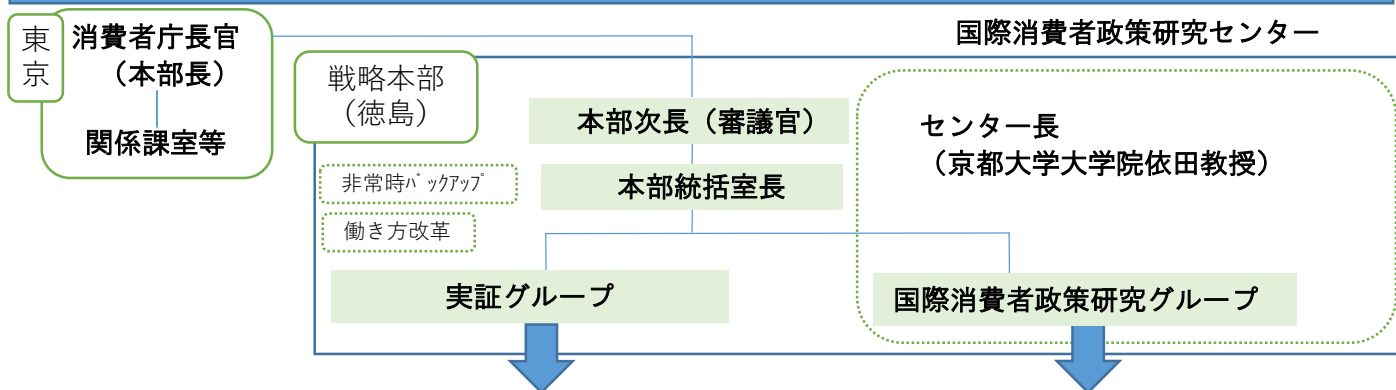
○徳島県内市町村共通の窓口の整備の効果と、中小企業における内部通報制度の導入及び円滑な運用推進の効果を検証

## 消費者庁新未来創造戦略本部

- ◆本庁機能を有する新たな恒常的拠点の発足  
国内外の産官学民による、新たな未来に向けた消費者行政の発展・創造及び発信・交流の拠点

令和2年7月30日・徳島県庁10階に開設  
審議官が常駐して現地を統括。約60名体制でスタート

R3年度概算要求7.8億円(R2年度：3.9億円)



### モデルプロジェクト

徳島等の実証フィールドを活用して先駆的な取組の試行や施策効果の検証等を実施

主なプロジェクト

- ◆SNSを活用した消費生活相談の実証実験
- ◆消費者安全確保地域協議会による更なる取組の充実・強化に向けた事例研究
- ◆特別支援学校向け消費者教育教材の制作と試行・検証

### 国際消費者政策研究

デジタル化や高齢化等の社会情勢の変化による新しい課題等に関する消費者政策研究を実施

主な研究

- ◆新型コロナ感染拡大に関連する消費行動研究
- ◆認知症等高齢者の消費行動特性や消費者トラブルに関する調査研究
- ◆デジタル社会における消費者法制の国際比較法研究

## PROJECT

### 成年年齢下げを見据えた「若年者向け消費者教育」

令和4年4月の成年年齢の引下げにより、18歳で未成年者取消権を喪失することとなり、若年者の消費者被害が拡大するおそれがあることから、被害の防止や契約の知識等を学ぶため、若年者に対する消費者教育を推進。

- ▼県内全高校等で消費者庁作成教材「社会への扉」を授業展開
- ▼中学生向け消費者教育教材の作成・活用推進  
消費者教育教材資料表彰2019優秀賞受賞
- ▼小学生向け消費者教育教材の作成・活用推進  
消費者教育教材資料表彰2020優秀賞受賞

先駆的に推進

#### 国の施策に反映・全国展開

国は4省庁で策定「若年者への消費者教育推進に関するアクションプログラム」に基づき、令和2年度中に全ての都道府県の高校で「社会への扉」の活用を目指す。

#### 新プロジェクトに発展

- ◆特別支援学校への教材作成を検討
- ◆SNSによる消費生活相談の実証
- ◆デジタル教材の普及啓発

## PROJECT

### 高齢者等の消費者被害防止の「見守りネットワークの構築」

高齢者、障がい者等の消費者被害を防ぐため、消費者安全法に基づいた市町村と地域の様々な団体・機関が連携して見守り活動を行う。徳島県では全市町村で設置。全国的に認知症の方を含め高齢者等を中心に消費者トラブルが増加し、悪質化・深刻化している中、消費生活上特に配慮を要する消費者に対する取組を実施。

- ▼地域協議会への県の参画による連携促進  
目標：R2中に全協議会へ参画「現在10市町」
- ▼消費生活協力団体・協力員の委嘱を推進
- ▼徳島県・徳島県警・市町村見守りネットワーク合同WEB会議開催

先駆的に推進

#### モデルプロジェクトの全国展開

- ◆本県の実効性のある特徴ある取組事例を全国発信
- 全国自治体研修会等での周知活動

## PROJECT

### SDGsを見据えたエシカル消費の普及

エシカル消費とは、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。例えば、障がい者の社会参加に繋がる商品を選ぶ(人)、フェアトレード商品を選ぶ(社会)、食品ロスをなくす(環境)、地元の産品や被災地の産品を買う(地域)といった行動。最近では、コロナ禍の生活の変化がエシカル消費推進のきっかけにもなっている。

- ▼地域×企業のためのSDGs実践セミナー  
オンデマンド版公開 (R2.11.4～)
- ▼エシカル甲子園2020(R3.3.26開催予定)
- ▼エシカル消費認知度向上  
H29 26.4% H30 34.2% R1 40.9%
- ▼SNSでくらし応援！エシカルキャンペーン実施

先駆的に推進

#### モデルプロジェクトの全国展開

- ◆自治体や大学、企業、地域等と連携した本県の取組事例をヒアリングし全国へ発信
- SDGs実践セミナー配信による全国展開
- エシカル甲子園による全国展開

県内自主宣言事業者数：45  
(令和2年8月末日現在)

## PROJECT

### 消費者志向経営の推進～サステナブル経営～

事業者が消費者全体の視点に立ち、健全な市場の担い手として消費者の信頼を獲得するとともに、持続可能で望ましい社会の構築に向けて社会的責任を自覚して事業活動を行うこと。徳島県では「とくしま消費者志向経営推進組織」を設置し「消費者志向自主宣言」に取り組む事業者の拡大を推進。

- ▼地域×企業のためのSDGs実践セミナー  
オンデマンド版公開 (R2.11.4～)
- ▼消費者志向経営推進連絡会議の開催  
消費者庁、四国4県、関西広域連合の担当者によるWeb会議を開催 (R2.8.26)

先駆的に推進

#### モデルプロジェクトの全国展開

- ◆経済団体等と連携し、四国、関西、全国へ取組を拡大
- SDGs実践セミナー配信による全国展開
- 四国、関西の自治体、経済団体との連携  
四国、関西でセミナー開催

県内自主宣言事業者数：34  
全国自主宣言事業者数：159  
(令和2年8月末日現在)



## 新型コロナウイルス感染拡大予防 ガイドライン実践店ステッカー

徳島県では5月25日「とくしまスマートライフ宣言！」を行い、特に、事業者の皆様には3密の徹底回避のほか、各業界団体が作成した「感染拡大予防ガイドライン」を踏まえた感染防止への取組をお願いしています。

業界団体が主体となり、会員店舗への「感染拡大予防ガイドライン」の徹底等を呼びかけるとともに、積極的に感染拡大予防に取り組む店舗と業界団体が「認定」した店舗へステッカーを配布しています。

ステッカー掲載店舗もホームページで確認することができます。



ステッカー  
掲示店舗▼



とくしま  
スマート  
ライフ宣言▼



## 新型コロナウイルス 特設情報サイト

随時  
更新中!



消費者を対象に、新型コロナウイルス感染症に関連する情報を掲載した特設情報サイトを開設しています。

新型コロナウイルス感染症に乗じた悪質商法や、消費者教育のための教材などを紹介しています。

## お役立ち情報

## 消費者庁 リコール情報サイト



リコール製品の回収・無償修理等情報をまとめています。

新規登録情報やリコール関連ニュースリリース、事故情報・製品安全に関する相談先などを掲載しています。



### リコール情報メールサービス

担当省庁等が公表したリコール情報をまとめて提供します。

メールに掲載されているリコール対象商品が、身の回りにある場合は、すぐにリコールを実施する事業者の案内を確認のうえ必要な対応を行ってください。



◇リコールとは・・・  
なんらかの欠陥・不具合・事故の発生などにより安全上の問題が生じる可能性がある製品、消費者が製品を安全に使用するための予防的措置が必要な製品などで、事業者が回収、修理などを行うもの。

〈高齢者を特殊詐欺から守る〉 敬老の日に合わせ見守りを強化

## 徳島県・徳島県警察・市町村見守りネットワーク合同WEB会議 令和2年9月18日

敬老の日を前に、県内で発生している特殊詐欺被害の約4割が高齢者ということから、特に高齢者に向けた啓発が必要な状況であることを受け、県と市町村とをウェブでつなぎ、「徳島県・徳島県警察・市町村見守りネットワーク合同WEB会議」を徳島県庁で開催しました。

会議では、徳島県警より特殊詐欺の現状について「『電子マネーを買ってきて』は詐欺」「老人ホームの名義貸しは犯罪」など具体的な事例を示しながら報告がありました。

また、各市町村の消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）からは、コロナ禍においてどのような工夫をして活動を行っているか報告がありました。

徳島県・徳島県警・見守りネットワークが情報共有することで消費者被害防止に向けた啓発活動の強化を図っていきます。



### いやや泣き寝入り！知っておこう消費者トラブル

徳島県消費者情報センター メールマガジンより、消費者トラブルの事例を紹介します。

#### SMS(ショートメッセージサービス)の 架空請求に注意!!

「スマホにSMSで『ご利用料金の確認がとれていません。本日中に03-0000-0000 △△△お客様サポート迄ご連絡ください。』といったメールが届いた」との相談が増えています。

連絡先として、大手電話会社の関連会社や大手通販サイトなどを名乗っていますが、実在する企業とは一切関係ありません。

不審だと思いながらも電話すると、有料サイト名を挙げて、未納料金の支払いのため、コンビニで電子マネーを買って番号を伝えるように促されます。



身に覚えがないと言っても、「一旦支払っても、調査の上間違いであれば返金する」などと言われるようです。

これは振込詐欺の一種、架空請求詐欺の典型的な事例です。実際に被害にあった方もいます。絶対に連絡しないようにしてください。心配な場合はお近くの消費生活センターにご相談ください。

「怪しい」と感じたら、最寄りの消費生活センター等につながる

全国共通の電話番号 **188** へ  
消費者ホットライン

消費者情報  
センター  
メールマガジン  
登録はこちら▶



## 阿波市 「みんなで見守り、安心・安全を『全市民』に」

阿波市消費者安全確保地域協議会は、子どもからお年寄りまで「全市民」を対象に消費者被害の防止を図ることを目的として、平成30年4月に設立しました。



構成機関には、高齢者に身近な存在である「老人クラブ」や「婦人会」などの民間団体のほか、小中学生に消費者教育を実施している教育委員会などの行政機関が参画しています。定例会では、消費生活センターの状況報告や意見交換の他、消費者庁・県・警察の方からもお話をいただくことにより、日頃の見守りがよりよいものとなる役立つ情報や知識を共有しています。

また、ポスターとマグネットを作成し、民生委員さんを通じて、75歳以上の一人暮らし全世帯に配布しました。



近頃は、新型コロナウイルスの影響で、年齢問わず在宅時間が増えており、悪質な電話勧誘販売や訪問販売の被害増加が予想されています。

電話勧誘販売防止には、県や警察と連携し「不審電話撃退装置」の設置の推進を、また、悪質な訪問販売防止には、ふるさと応援基金を活用した、協議会オリジナル「訪問販売お断りステッカー」の作成を進めています。

消費生活センターが市役所内にある“いち早く繋がる”利点を生かして、これからも全市民に見守りが行き届くネットワークづくりを推進して参ります。





## 消費者教育

## 南部総合県民局

「消費者教育が地域を変える！～地域課題は次の世代を育てる学びの宝箱～」



南部総合県民局では毎年、「県立総合高等学校とくしま政策研究センター調査研究事業」に参画し、消費者行政・消費者教育に関する調査研究を行っています。

令和2年8月19～21日に開催された「子どもプログラミングセミナー」では、小学校で必須となったプログラミングを学びながら、消費者として必要な知識等を習得することで、将来、消費者として主体的に判断・行動できる「自立した消費者」の育成を目指しました。



クレジットカードを使ったお金の流れや支払いの仕組みを学んだ後、プログラミングによるクレジットカードを作成しカードを使った買い物を疑似体験。

目に見えないお金の使い道を可視化できるお小遣い帳の付け方、使う時にどのような注意をすべきかについて学習しました。



## 消費者志向経営

### 徳島合同証券（株） 「豊かな社会をつくる会社を応援」

徳島合同証券（株）は、金融を通じて人々の生活の向上を支える企業を応援しています。

長期投資を通じお客様の安定した資産形成を徳島に広めています。またクラウドファンディング（ある目的、志などのため不特定多数の人から資金を集める行為、またそのためのネットサービスのこと）等の様々な手法で、徳島の豊かな社会や環境をつくる企業や取り組みを応援しています。

長期投資を行うにあたって一番大切な部分は、普段は、応援したい会社の商品を購入し、悪い材料や市場が暴落したときにはその会社の株式を応援買いする、といったようにお金に意思を持たせることです。

企業としての社会的な存在価値を重視することにより、全てのステークホルダー（利害関係者）の利益と発展を念頭に企業活動を展開しています。



## 子どもの事故防止

### 徳島県医師会

### 子どもの事故防止プロジェクト関係者ネットワーク会議委員



徳島県医師会は徳島県小児科医会と協働で、医療の視点から子ども事故防止活動を行っています。子どもの事故は命にも繋がる事が多く、救急医療機関でもその対応が求められます。

また、日頃はおかかりつけ医にて各保護者さんに向けて具体的に事故防止啓発を行っています。イベントでは、昨年まで開催された「おぎゃっと21での小児科医による個別相談コーナー」、「徳島県医師会での保育支援行事」や「徳島県小児科医会子育て支援行事」にて啓発活動を行っています。

コロナ禍においては、家庭にいる時間が長くなるので、通常より、転倒、転落、お風呂での溺水、誤飲など家庭での事故が多くなります。「子どもの命を守る」ために、子どもの目線に立って家族での事故防止の意識を高めてください。



エシカル消費

板野町

板野町では、エシカル消費の認知度を高め、さらに行動に移すことのできる人を育てることを目的としてエシカル消費を推進しています。

平成30年1月に「板野町エシカル消費推進宣言」を行い、同年1月から2年間、“おもしろおかしく、わかりやすい”をモットーに「エシカル消費教室」と題し、毎月広報誌「すがお」別冊にエシカルについて解説したページを掲載してきました（板野町のホームページにも掲載）。



また、消費生活相談所の相談員が消費者被害防止の啓発と併せてエシカル消費の講座や藍染め体験ワークショップ等も開催しています。

今後も、エシカル消費を推進していきます。



JA夢市場

JA夢市場では「環境にやさしい農業に取り組む」という観点からエコファーマー認定取得を目指し、農業支援センターに支援していただきながら取り組んでいます。

現在、7名がエコファーマーを取得しており、店内にはポップ等での紹介のほか、エコファーマー農産物にシールを貼るなど、PRに努めています。農産物直売所なので、お客様もエコファーマーに興味を持ってきています。



今後は、特別栽培農産物を推奨し、さらなる環境に優しい農業を目指していきます。エシカル消費が理解され、普及し、上手く循環する社会になってほしいです。

〈エコファーマー〉

土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者の愛称。



## 「とくしま安2GAP認証すだち」を育てる

徳島県立城西高等学校神山校

城西高等学校神山校では、平成26年にとくしま安2GAP基本認証を取得し、さらに平成28年度にとくしま安2GAP優秀認証へとバージョンアップさせました。



スダチの収穫実習

### 〈生徒の意識が変化〉

GAP認証を受けたことで生徒たちの実習での意識も変化しました。服装をはじめ、実習地や実習内容でのリスクを考え、ケガや熱中症の防止を意識するようになり、収穫物への異物混入防止についても生徒自身で意見を出し合って改善していく姿勢が見られるようになりました。

### 〈今後の活動〉

さらに、昨年からJGAP認証取得に取り組み、本年度は維持審査をクリアすることができました。よりレベルの高い認証を取得したことで、グローバルな販売活動を展開できるようになりました。今は、東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供へもつながればと、頑張って栽培に取り組んでいます。

都道府県GAP [徳島]  
とくしま安2GAP農産物

食品安全・環境保全・労働安全に  
配慮した優れた農業生産体制で生産  
された農作物に徳島県が認定する



### 〈実践内容〉

GAPの実践はPDC Aサイクルが基本となります。農薬や肥料の使用について、次のようにPDC Aサイクルを実践しました。

- Plan：使用した農薬・肥料の記録をルールづける
- Do：農薬・肥料の散布日、散布量などを記録
- Check：自己点検や審査機関を入れての第三者点検を行い評価を行う
- Action：評価をふまえてルールを修正・追加

このようなサイクルを繰り返すことで、農産物や作業者の安全性確保、環境への負荷軽減などにつながり様々なリスクを減らすことができます。



## コラム 〈消費者庁新未来創造戦略本部〉

### [ 消費者志向経営の推進 ]

消費者庁は、持続可能な社会に貢献することを目標に「消費者志向経営」の推進に取り組んでいます。各事業者が取組内容を自主的に宣言・公表し、その内容に基づき、取組を実施、結果をフォローアップして公表する「消費者志向自主宣言・フォローアップ活動」への参加を促しています。自主宣言事業者の取組内容等については、消費者庁のホームページからも閲覧することができます。

新未来創造戦略本部がある徳島県では、平成29年に地方で初めて徳島県、事業者団体、消費者団体等で構成する「とくしま消費者志向経営推進組織」が発足しました。また、消費者庁が事業者の優れた取組を表彰する「消費者志向経営優良事例表彰」において、地方の企業としては初めて徳島県の株式会社広沢自動車学校が「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました（令和元年度）。

参事官(調査・物価等担当)付 佐藤 直樹



このように、徳島県では着実に消費者志向経営が根付いてきています。

今後、新未来創造戦略本部では、徳島県での成果を踏まえて、中小企業を含め、より一層消費者志向経営を全国に推進していきます。



▲消費者庁ホームページ自主宣言事業者の取組内容



内閣府特命担当大臣表彰受賞の様子  
株式会社広沢自動車学校  
代表取締役 祖川氏(出典：主催者)

サステナブル(持続可能)な社会のために私たちができることは？  
買い物かごに入れる前に少し考えてみませんか

## 未来につながるお買い物“エシカル消費”

私たちの毎日の食事や、食材について少し意識を変えるだけで、持続可能な社会に貢献できることをご存じですか？食品の包装にはいろいろなマークが付いていますが、お買い物の際には、次のマークがあるかどうか注目してみてください。

### 有機農産物

化学肥料・化学合成農薬を使用せず栽培された農産物のこと。生物多様性の確保に貢献する農法で栽培された農産物です。

- 有機JASマーク
- Bioマーク（ドイツ）など



### 海のエコラベル

環境に配慮した漁や養殖による水産物の認証制度。限りある漁業資源の確保や適正な養殖方法を担保するマークです。

- MSC認証/asc
- AEL(養殖エコラベル) など



### GAP認証

食品安全、環境保全、労働安全等の効率的で持続可能性の高い生産工程で生産された農産物。運営主体や目的で種類が異なります。



- GLOBALG.A.P：国際基準（120か国共通）
- JGAP：日本の標準的な農場にとって必要十分な内容の基準
- その他、都道府県やJA・生協などが運営するものがある

### 世界農業遺産

にし阿波地域の傾斜地農業ブランド認定。  
にし阿波地域傾斜畑等での伝統的な生産方法で作られた農産物を認定しています。



マークの付いた食材の購入だけでなく、「地産地消」を心がけた買い物だけで「エシカル消費」に繋がります。

### コウノトリとの共生の証

## 「コウノトリおもてなしれんこん」

### JA徳島北れんこん特別栽培部会

JA徳島北管内では、れんこんの品質改善のため、有機質資材の投入や化学肥料・化学合成農薬の利用を削減する「環境保全型農業」の実践によって、地力の回復や水質改善に積極的な取組を行ってきました。

この取組が生物の多様性の確保に繋がり、2014年12月に特別天然記念物のコウノトリ2羽がれんこん田へ飛来。2017年には、1971年に国内の野生種が絶滅して以降、兵庫県豊岡市以外では全国初となる野外繁殖が確認され、無事に巣立つことができました。

これを機に、地域ぐるみでえさ場であるピオトープの設置や「冬水田んぼ」を実施。コウノトリを見守り、定着させる取組を加速させています。

れんこん農家では、化学肥料・化学合成農薬を5割以上削減する「特別栽培」に取り組み、適正な生産工程の証である「とくしま安2GAP認証」を取得しています。



# とくしまPROJECT

新次元の消費者行政・消費者教育取組紹介



## □ TOPICS

未来につながるお買い物  
“エシカル消費”

- ◇ コウノトリとの共生の証  
「コウノトリおもてなしれんこん」
- ◇ 「とくしま安2GAP認証すだち」  
を育てる

□ コラム 〈新未来創造戦略本部〉  
消費者志向経営の推進

## □ PROJECT NEWS

エシカル消費

板野町／JA夢市場

消費者志向経営

徳島合同証券（株）

子どもの事故防止

徳島県医師会

消費者教育

南部総合県民局

消費者安全確保地域協議会

阿波市

□ 高齢者を特殊詐欺から守る

□ いやや泣き寝入り！

知っておこう消費者トラブル

□ 新型コロナウイルス

感染症に関する情報

□ お役立ち情報

□ 新次元の消費者行政・  
消費者教育